

## ノア モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

品番：MSD41-28001  
28002

設定型式：MZRA9#W、ZWR9#W

設定グレード：S-Z、S-G

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きありがとうございます。

本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

本商品とフロントグリルキットを同時装着の場合は、フロントグリルキット、本商品の順に取り付けてください。

## 取り付け上の注意事項

★本商品は登録後架装を前提としています

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取りはずさない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- モール（両面テープ付き）・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。（PACプライマー-K-500及びN-210NTを本品に添付）

**重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。

**重要** 両面テープは、外気温が15℃未満になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。

- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール（IPA）等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行っても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール（IPA）等で脱脂をきちんと行なって下さい。

**重要** 両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N（5kgf）以上

## 取り付け完了後の点検・注意事項

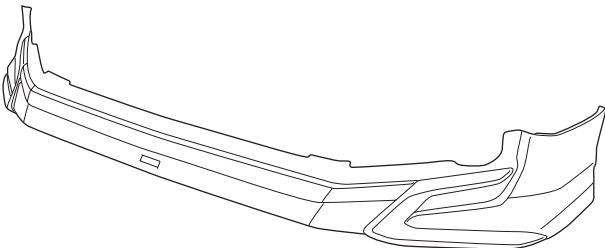

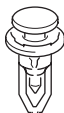







- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。（両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーの間に隙間が発生するおそれがあります。）

**△ 注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

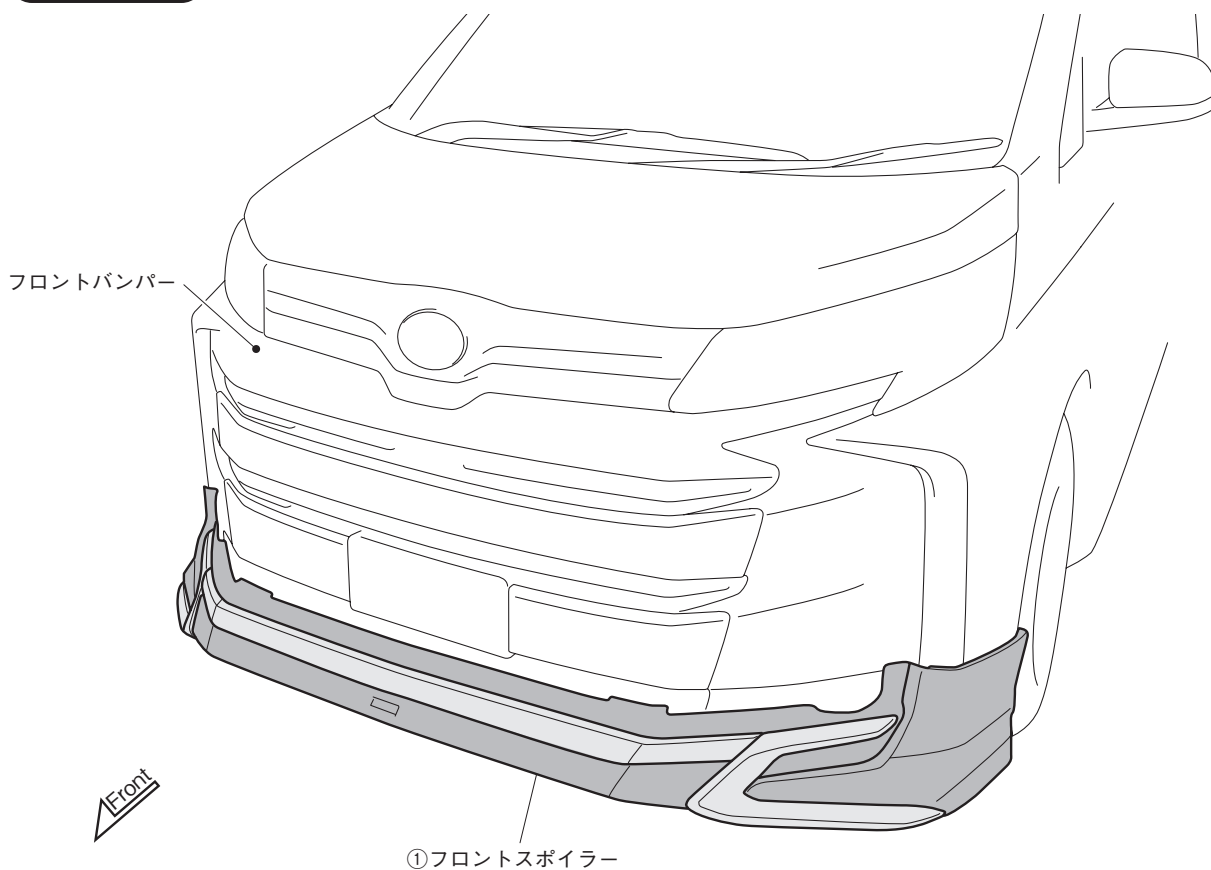
**👉 アドバイス** ……この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

# ノア モデルスタバージョン

フロントスポイラー (品番：MSD41-28001-\*\*)  
(品番：MSD41-28002-NP)

①	No.	品名	個数
	①	フロントスポイラー	1
	②	樹脂クリップ	2
	③	Tボルト	2
	④	クリップナット	2
	⑤	PACプライマー N-210NT	1
	⑥	PACプライマー K-500	1
	⑦	型紙シール	1
			
			
			

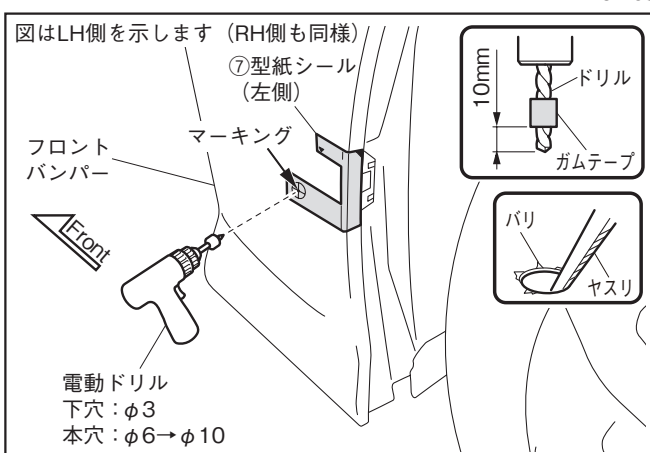
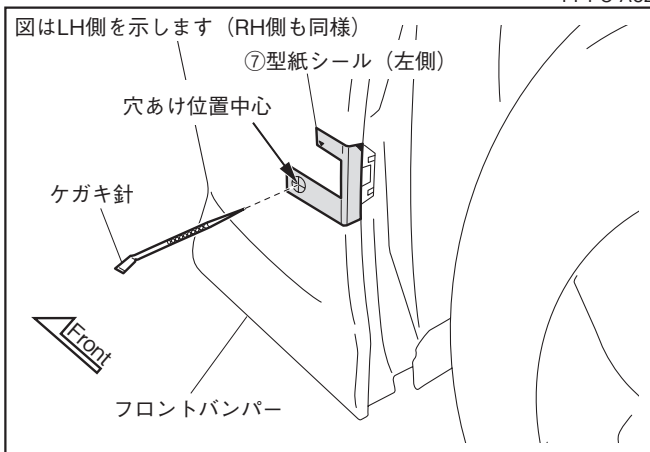
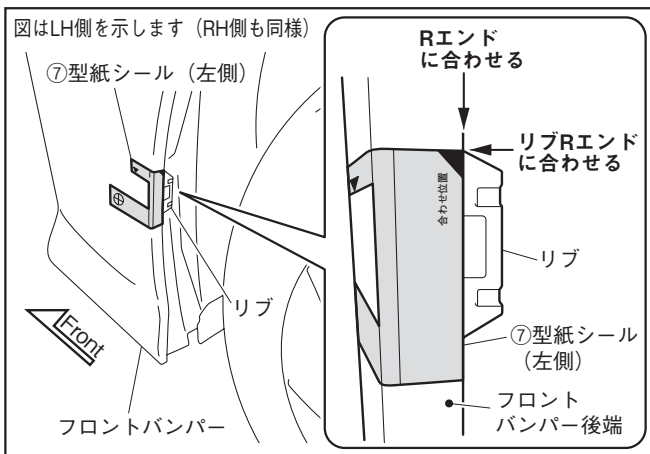
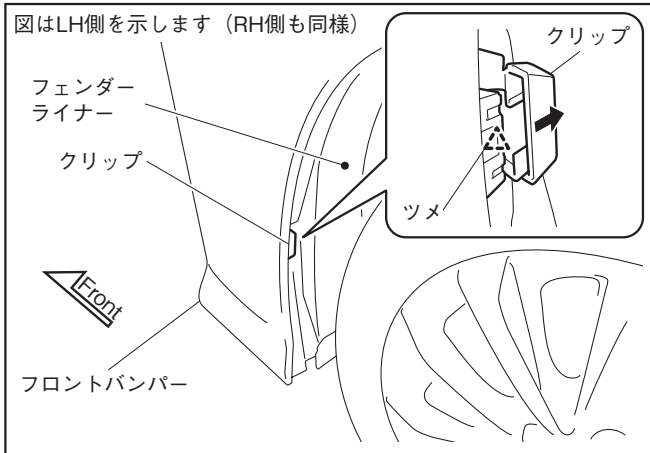
## 取付概要



TT-FC-001

# 取付手順

## I. 取付準備



1. ツメ (1箇所) の勘合をはずし、フェンダーライナーをフロントバンパーから切り離す。

2. 図に従い、⑦型紙シール (左側) をフロントバンパーに貼り付ける。

3. ⑦型紙シール (左側) の穴開け位置中心 (1箇所) に、ケガキ針でマーキングする。

4. 図に従い、ドリル (φ3、φ6、φ10) にストッパー (ガムテープ) をセットする。

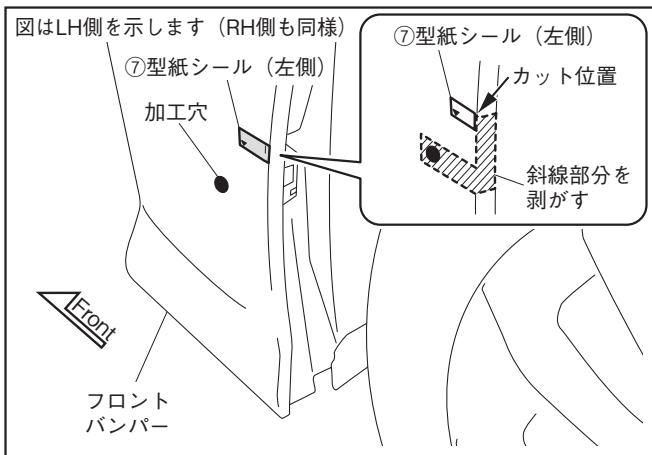
5. 電動ドリルでマーキング (1箇所) に下穴φ3を開ける。

6. 下穴 (1箇所) に、本穴φ6→φ10を開ける。

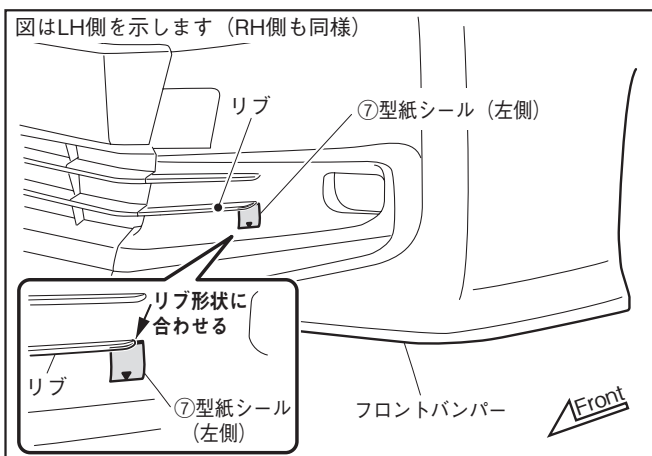
7. 加工穴のバリを取り除く。

### ⚠ 注意

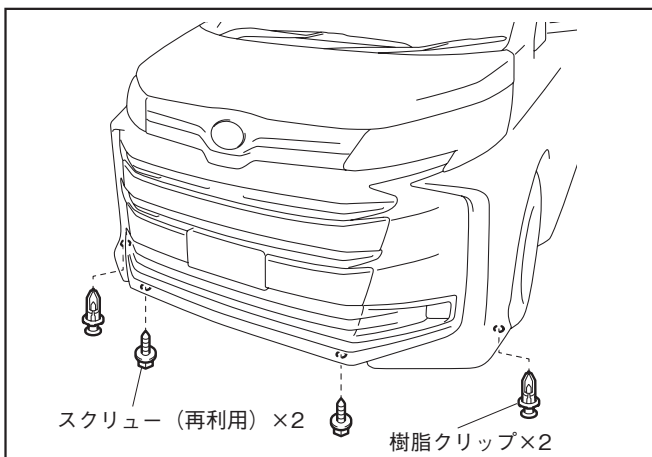
1. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
2. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
3. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれるおそれがあるため手袋等は着用しないでください。



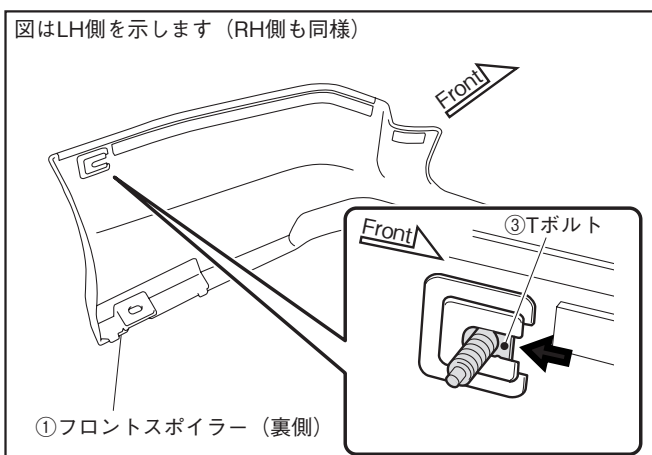
TT-FC-A05



TT-FC-A12



TT-FC-A06



TT-FC-A11

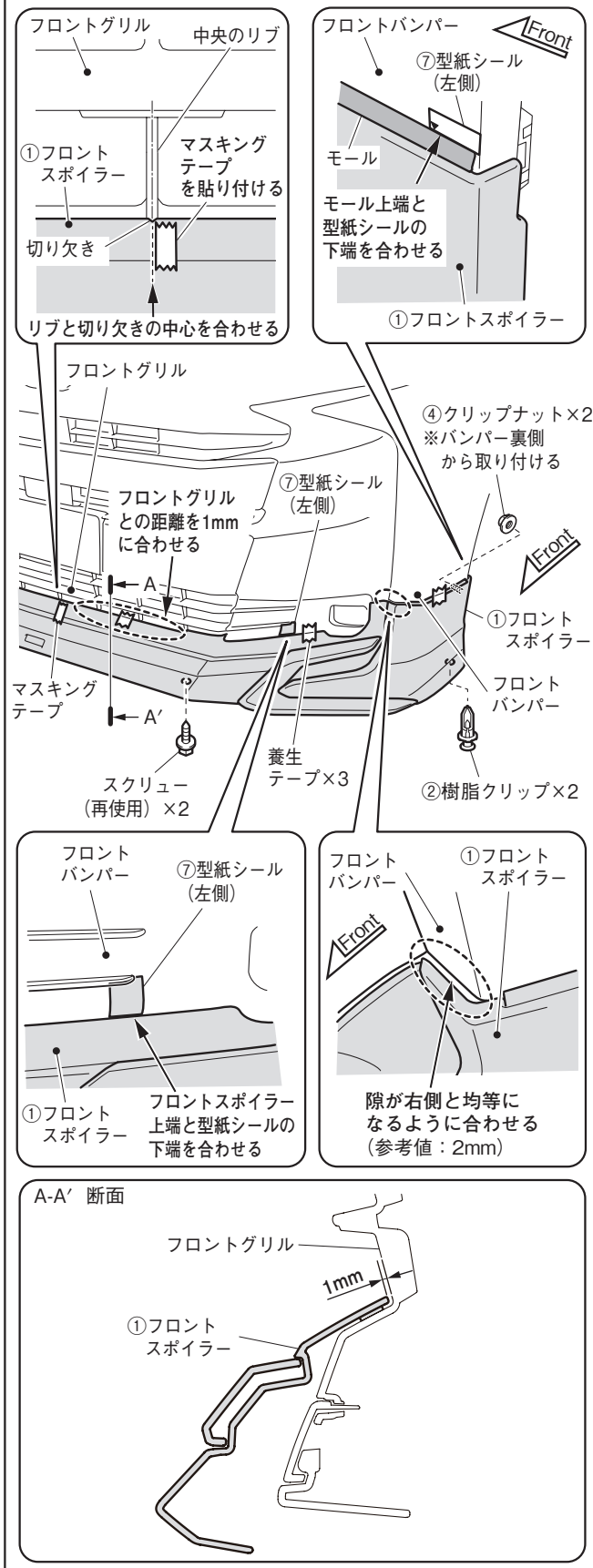
8. 図に従い、⑦型紙シール (左側) をカットし、斜線部分を剥がす。

9. 図に従い、⑦型紙シール (左側) をフロントバンパーに貼り付ける。

10. スクリュー (2本) 及び樹脂クリップ (2個) を取りはずす。

11. ③ T ボルト (2個) を①フロントスポイラーに取り付ける。

図はLH側を示します (RH側も同様)



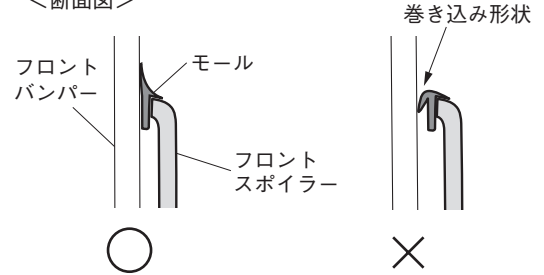
TT-FC-A07

12. 図の基準に従い、①フロントスポイラーをフロントバンパー及びフロントグリルに仮当てる。

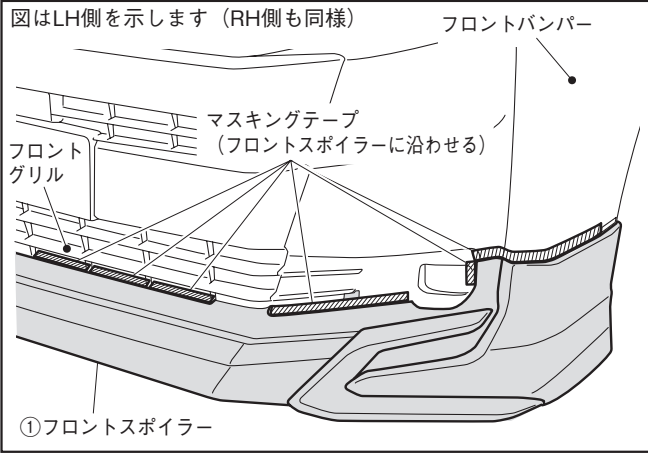
### ⚠ 注意

1. 取付ボルトで車両部品に傷をつけないよう、フロントスポイラーのLH側及びRH側を広げながら装着してください。(以降同様)
2. モールのリップが巻き込んでいないことを確認してください。(以降同様)

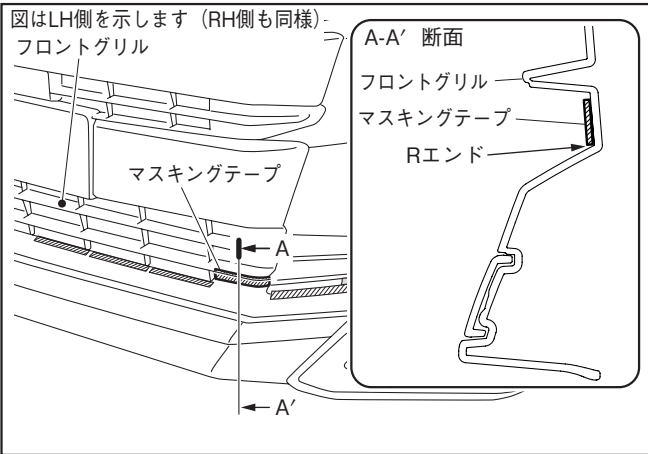
<断面図>



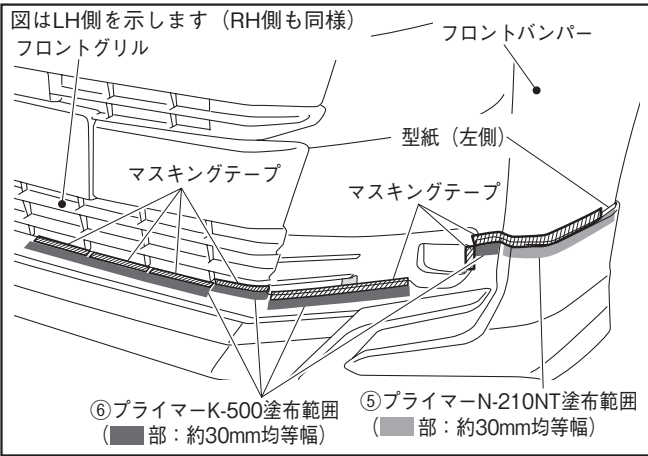
13. ④クリップナット(2個)、②樹脂クリップ(2個)、スクリュー(再使用:2本)及び養生テープ(3箇所)で①フロントスポイラーを仮固定する。
14. ①フロントスポイラー中央の切り欠きとフロントグリル中央のリップを合わせ、マスキングテープを貼り付ける。



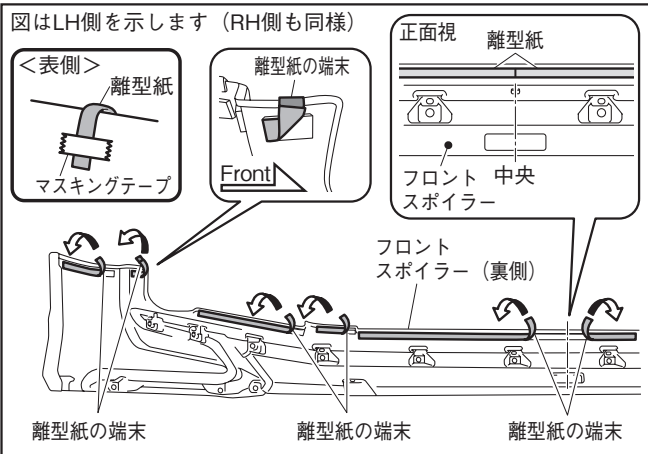
TT-FC-A08



TT-FC-A13



TT-FC-A09



TT-FC-A10

15. ①フロントスポイラーに沿わせて、マスキングテープをフロントグリル及びフロントバンパーに貼り付ける。

### 👉アドバイス

養生テープを貼り付けている箇所は、一旦養生テープを剥がしてからマスキングテープを貼り付けてください。

16. ①フロントスポイラーを取りはずす。

17. 図に従い、マスキングテープをフロントグリルに貼り付ける。

18. フロントバンパーの左図アミ掛け部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、⑤ PAC プライマー N-210NT (塗装部分)、⑥ PAC プライマー K-500 (素地部分) を塗布する。

### ⚠️ 注意

- PAC プライマー N-210NT、K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PAC プライマー N-210NT、K-500 塗布後は、常温で10分間以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

19. マスキングテープを剥がす。

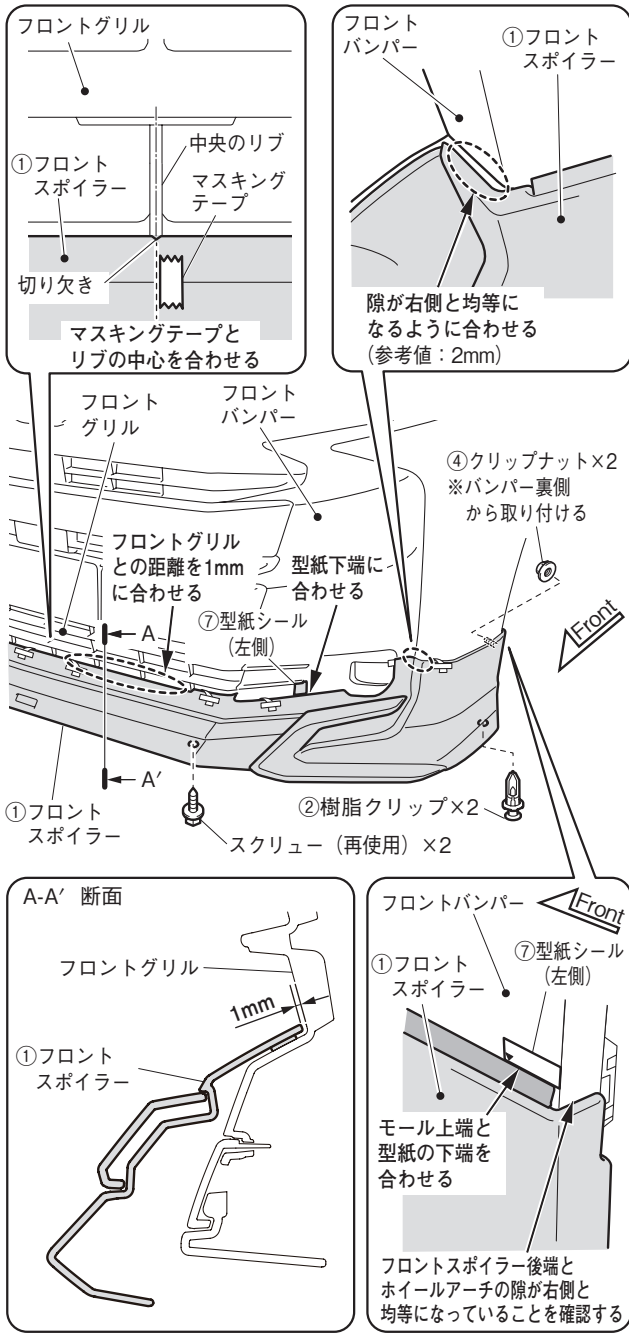
20. フロントスポイラーの離型紙の末端 (10箇所) を少しめくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。(図中👉部)

### ⚠️ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

## II . 取付け

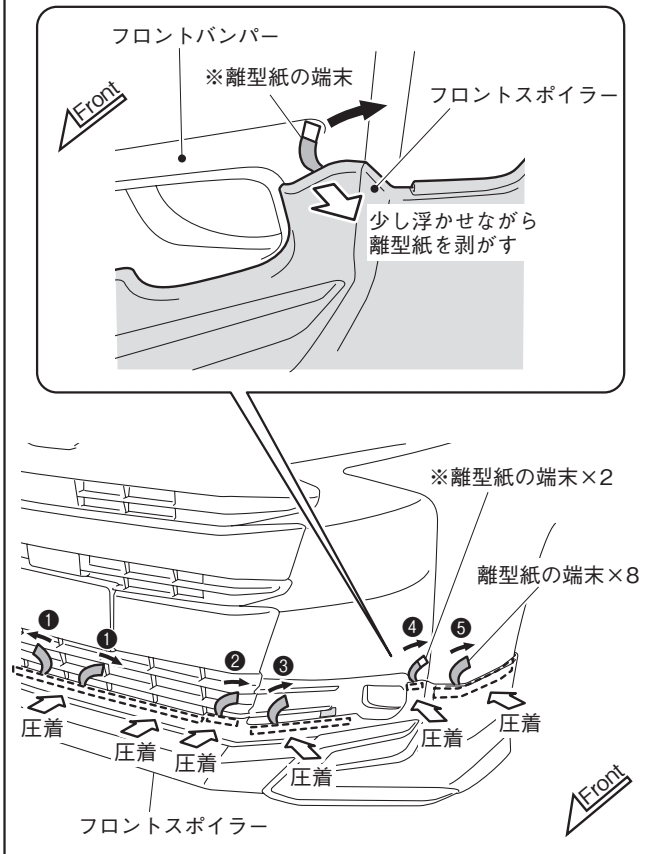
図はLH側を示します (RH側も同様)



TT-FC-B01

1. 図の基準に従い、①フロントスポイラーをフロントバンパー及びフロントグリルに仮当てる。
2. ④クリップナット (2個)、②樹脂クリップ (2個) 及びスクリュー (再使用: 2本) で①フロントスポイラーを仮固定する。

図はLH側を示します (RH側も同様)



TT-FC-B02

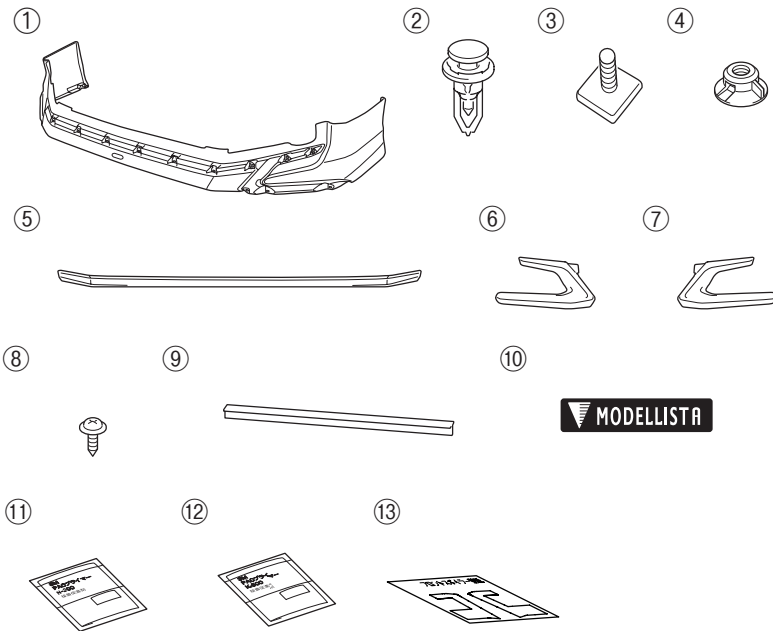
3. 離型紙の端末 (10箇所) を番号順に矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

### ⚠ 注意

- ※部の離型紙の端末は、フロントスポイラーを少し浮かせながら引き抜いてください。無理に浮かせるとフロントスポイラーが変形する恐れがありますので、注意して作業を行ってください。
- 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
- より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落の恐れがある為、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。
- ④クリップナット (2個) 及びビスクリュー (再使用: 2本) を本締めする。
- ⑦型紙シール及びフロントスポイラーに貼り付けたマスキングテープを剥がす。

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	樹脂クリップ	2
③	Tボルト	2
④	クリップナット	2
⑤	メッキピースCTR	1
⑥	メッキピースRH	1
⑦	メッキピースLH	1
⑧	スクリュー	18
⑨	モール (290mm)	ブラック:2 ライトグレー:2
⑩	モデリスタエンブレム	1
⑪	PACプライマー N-210NT	1
⑫	PACプライマー K-500	1
⑬	型紙シール	1

### モール (※) 推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1K0	メタルストリームM	ブラック
1L6	マッシュグレー	ブラック
1M6	アーバンロック	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックPCS	ブラック
226	グリッターブラックGF	ブラック
229	ニュートラルブラック	ブラック
3R3	レッドマイカM	ブラック
4X1	スティールブロンドM	ライトグレー

## フロントスポイラーの塗装

- ・本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①フロントスポイラーをボディ色で塗装する。

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。

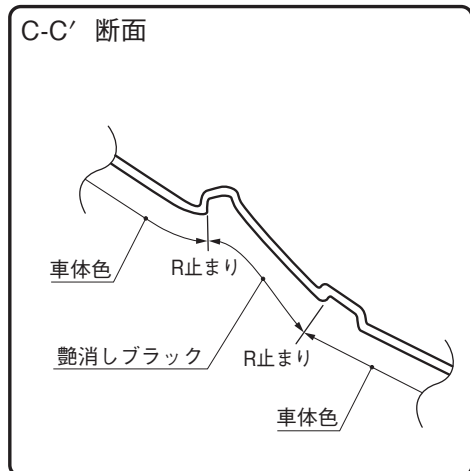
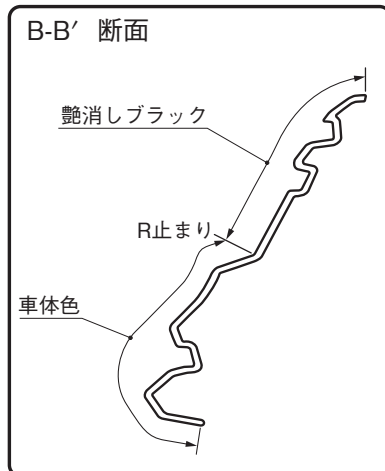
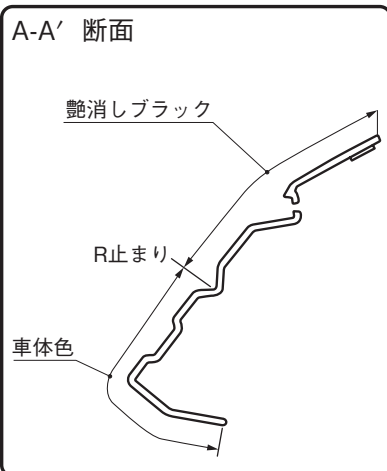
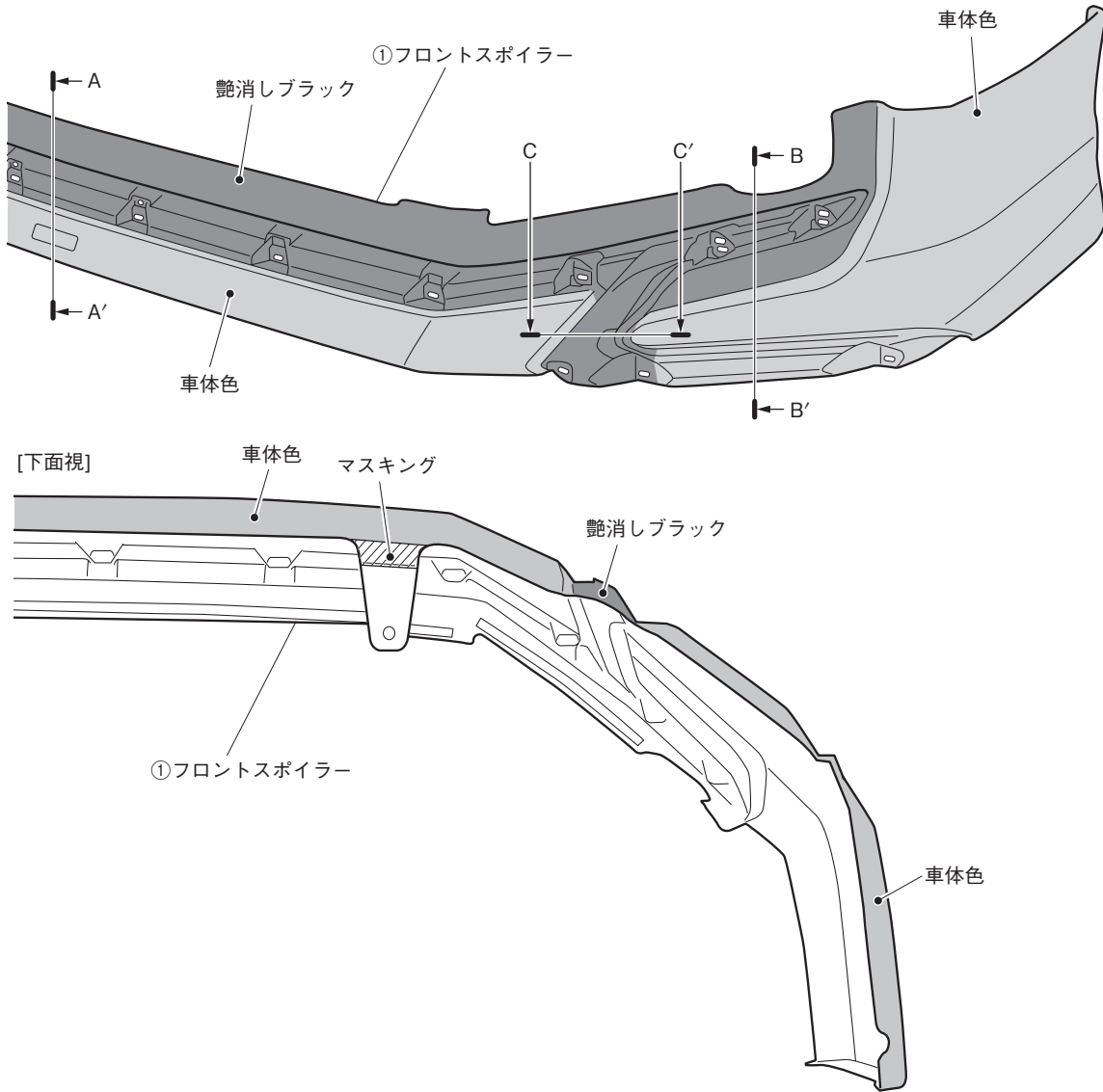
変形しない様、形状を保持して乾燥させてください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッションをマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。(本製品の素材は > PP < です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

## ツートン塗装

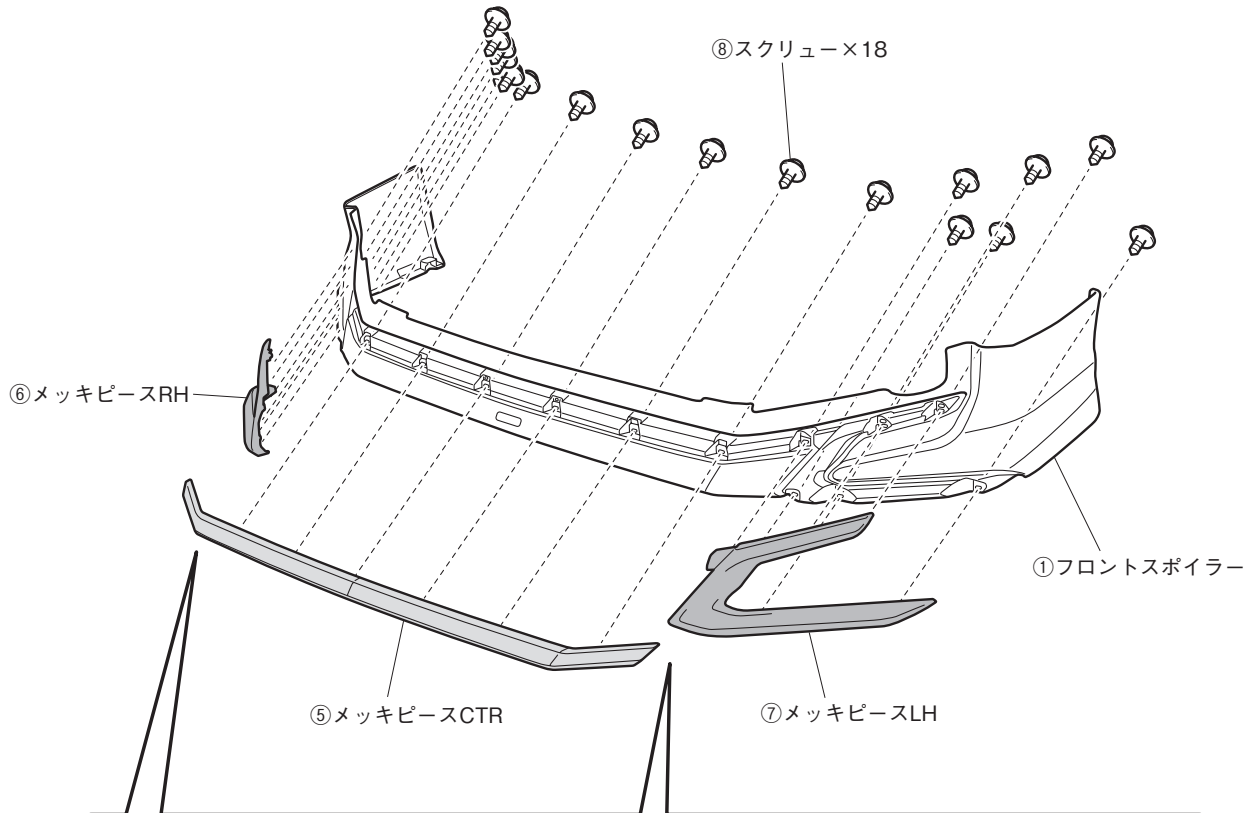
- ① フロントスポイラー裏側の両面テープ部、不織布部、モール貼り付け面及びラバーシート面をマスキングする。
- ① フロントスポイラー下部をマスキングする。
- 下図に従い、① フロントスポイラーを車体色に塗装する。
- 下図に従い、① フロントスポイラーを艶消しブラックに塗装する。

図はLH側を示します (RH側も同様)

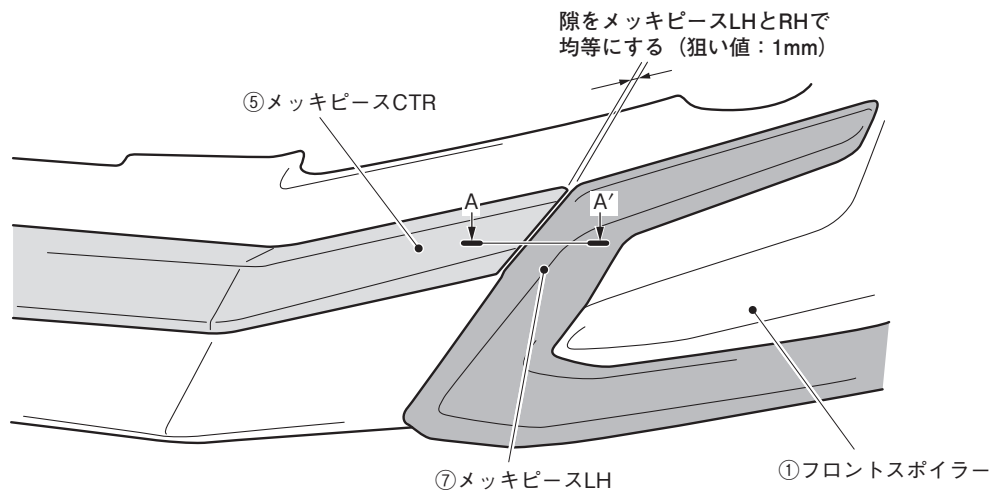


## メッキピースの取り付け作業

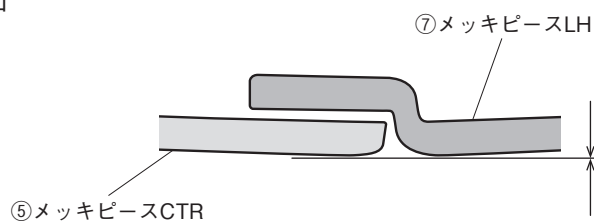
- ⑦メッキピースLH → ⑥メッキピースRH → ⑤メッキピースCTRの順で、  
⑧スクリュー（18本）を使用し①フロントスポイラーに仮固定する。
- ⑤メッキピースCTRを仮固定している⑧スクリュー（6本）を本締めする。
- 下図に従い、⑤メッキピースCTRと⑦メッキピースLH及び⑥メッキピースRHの隙を均等にし、  
⑧スクリュー（12本）を本締めする。



図はLH側を示します（RH側も同様）



A-A' 断面



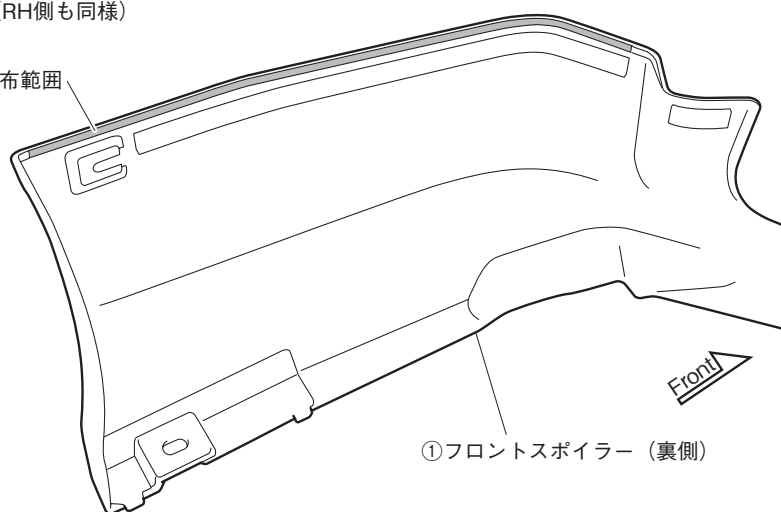
メッキピース間に極端な段差がない事を確認する。  
極端な段差がある場合は、  
メッキピース間の隙を  
空けるように調整する。

## モールの貼り付け作業

- ①フロントスポイラーの下図アミ掛け部を一方方向に拭いて清掃・脱脂し、PACプライマー-K-500を塗布する。

図はLH側を示します（RH側も同様）

脱脂、プライマー塗布範囲



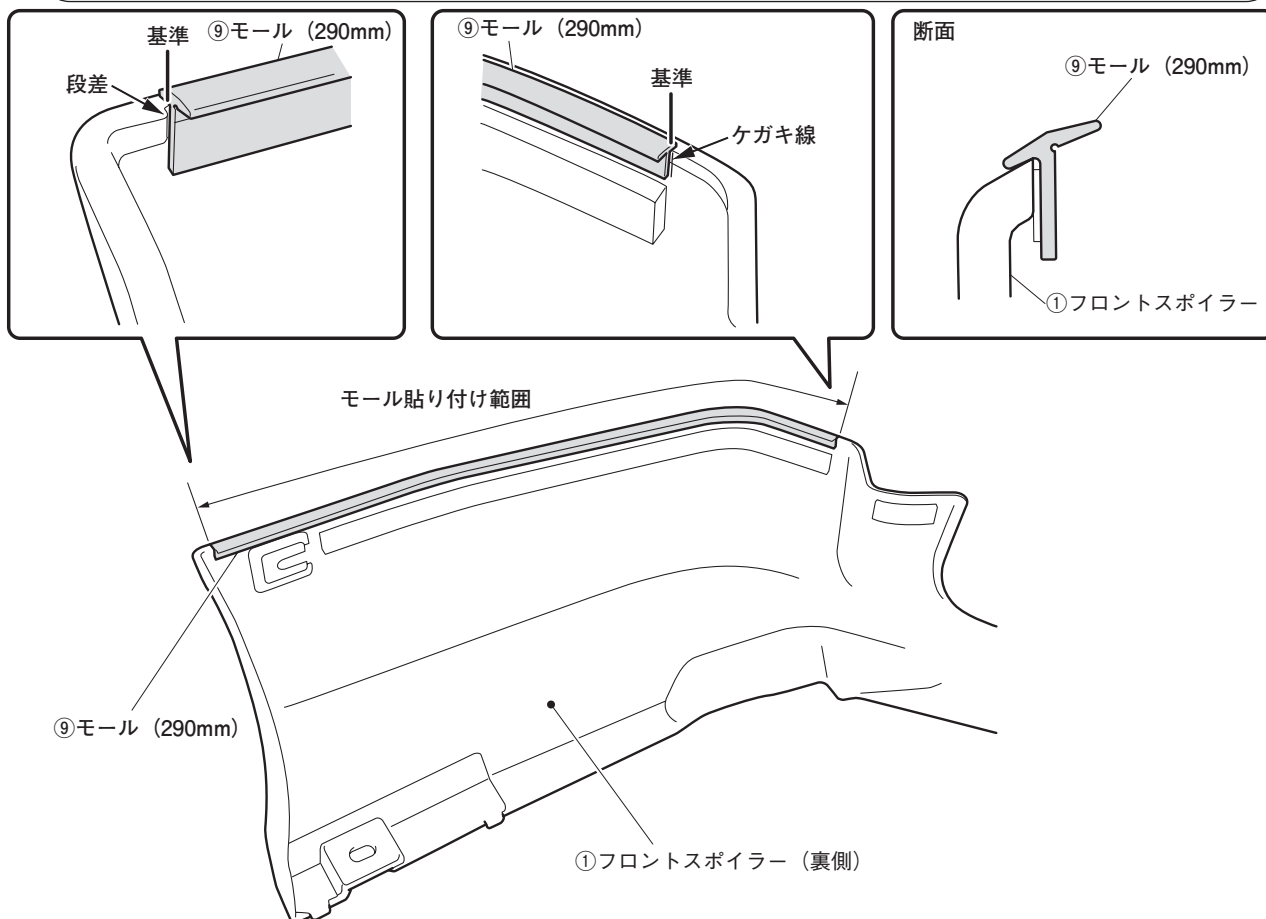
### アドバイス

- ・PACプライマー-K-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- ・PACプライマー-K-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ・PACプライマー-K-500はフロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

- ⑨モール（290mm）を①フロントスポイラーに貼り付ける。

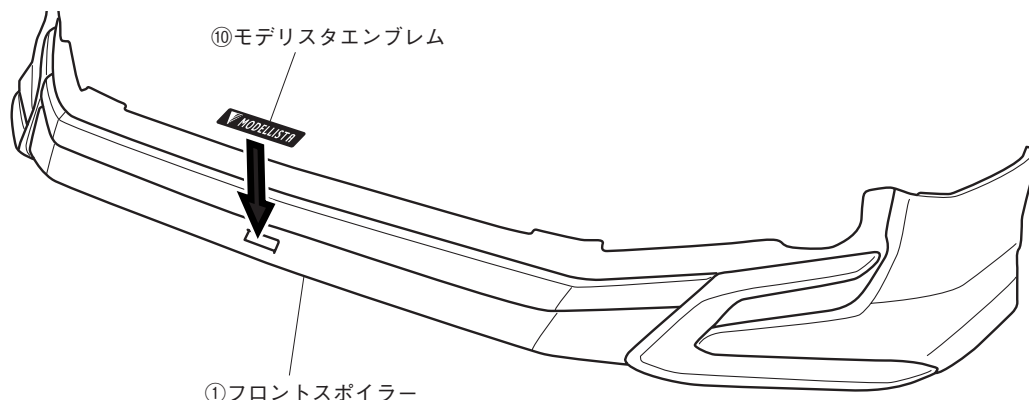
### 注意

モール（290mm）は図中のモール貼り付け範囲に合わせてカットしてください。



## エンブレムの貼り付け作業

- ①フロントスポイラー中央のエンブレム貼り付け部を洗浄脱脂してから⑩モデリスタエンブレムを貼り付ける。

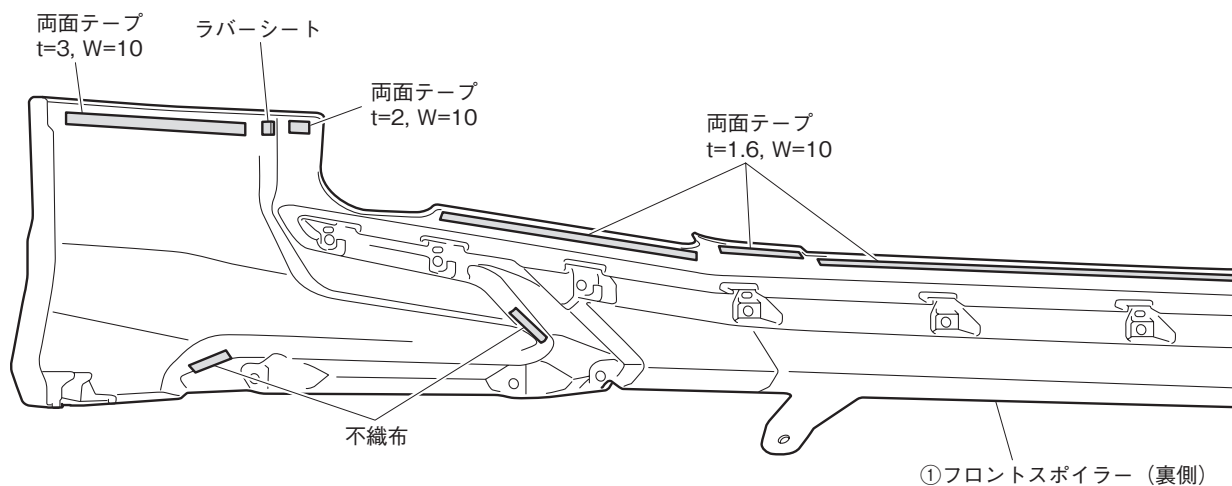


## 補修キット部品貼り付け

- 補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープ、不織布及びラバーシートを選択し貼り付ける。

※両面テープ、不織布及びラバーシートを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマー（PACプライマー-K-500相当）を塗布する。

図はLH側を示します（RH側も同様）



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000

# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

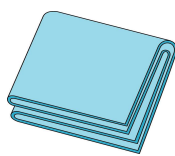


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



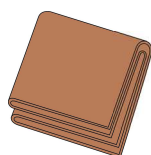
合成セーム皮



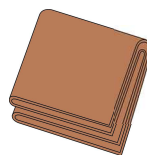
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



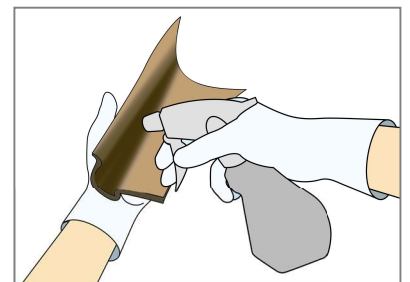
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

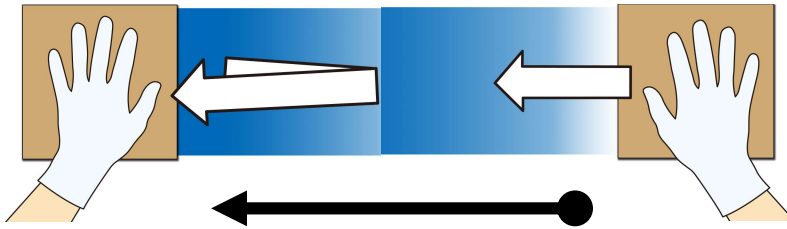
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち  
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

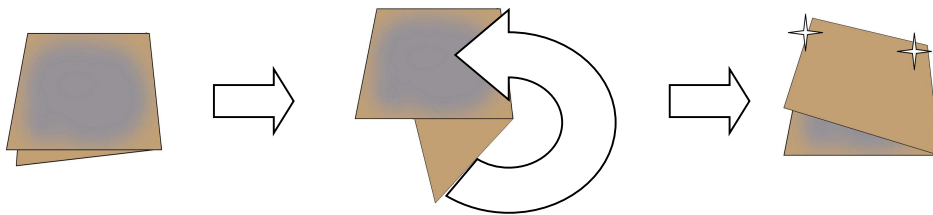
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。